

「ダニ」にご注意ください

山や草むらでの野外活動の際は、ダニに注意しましょう

春から秋にかけてキャンプ、ハイキング、農作業など、山や草むらで活動する機会が多くなる季節です。

野山に生息するダニに咬まれることで

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、つつが虫病、ライム病などに感染することがあります。

ダニに咬まれないためのポイント!

●肌の露出を少なくする

⇒ 帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等

●長袖・長ズボン・登山用スパッツ等を着用する

⇒ シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中

●足を完全に覆う靴を履く

⇒ サンドル等は避ける

●明るい色の服を着る (マダニを目視で確認しやすくするため)

* 上着や作業着は家の中に持ち込まないようにしよう

* 屋外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認をしよう

特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部 (髪の毛の中) などに注意



ダニに咬まれたときの対処法

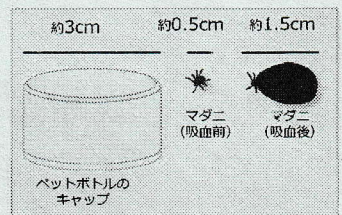
●無理に引き抜こうとせず、医療機関 (皮膚科など) で処置

(マダニの除去、洗浄など) をしてもらいましょう。

●マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けて下さい。

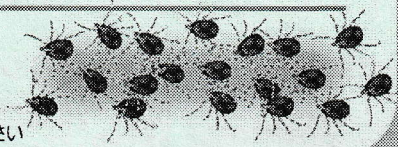
【受診時に医師に伝えること】

① 野外活動の日付け、② 場所、③ 発症前の行動



ダニ媒介感染症 (厚生労働省)

各地域のダニ媒介感染症の状況については各自治体HPも参考にしてください



ジカ熱・デング熱の運び屋 ヒトスジシマカの 発生源を叩け!

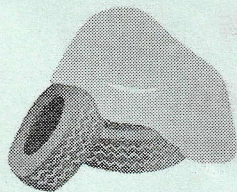


- 蚊の発生を減らすために、定期的に幼虫が発生しそうな周辺の水たまりの除去・清掃をしましょう!
- 下草を刈るなど、成虫が潜む場所をなくしましょう!

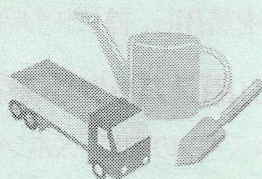
水たまり除去・清掃



植木鉢の皿



雨除けのブルーシートや古タイヤに溜まった水たまり



雨ざらしの用具



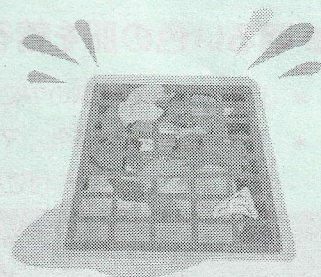
屋外に放置された空きビン・缶・ペットボトル

下草刈り



風通しの悪い やぶ・草むら

公園、学校、寺社、
空海港、駅などの施設を
管理されている方も
ご協力をお願いします!



詰まった排水溝

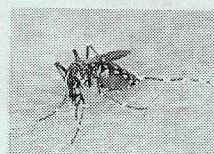
●なぜ対策が必要?

ジカ熱やデング熱は蚊を介して感染します。原因となるウイルスは、感染した人の血を吸った蚊(日本ではヒトスジシマカ)の体内で増え、その蚊がまた他の人の血を吸うときにウイルスを移し、感染を広げていきます。

●ジカ熱やデング熱に感染するとどうなる?

感染しても全ての人に症状が出るわけではありませんが、発熱や関節の痛み、発疹が出るといった症状が1週間ほど出ます。また、ジカ熱は妊婦が感染すると小頭症などの先天性障害をもった子どもが生まれたり、デング熱では出血を伴うデング出血熱となり重症化することがあります。

〔ヒトスジシマカ〕 ジカ熱・デング熱に関する詳しい情報は厚生労働省のHPをご覧ください。



背中に1本の白い線がある3~5mmほどの蚊で、5月中旬から10月下旬ころまで活動します。雑木林・竹林・藪・墓地・公園などに見られます。特に日中に活発に吸血します。活動範囲は50~100m程度です。

ジカ熱 厚労省 検索



デング熱 厚労省 検索

